



# 大森六中だより

令和7年 2月号  
大田区立大森第六中学校  
統括校長 菅野 哲郎  
TEL 3726-7155

## 下から2番目



六中だよりはHPからも  
ご覧いただけます。



調査対象国142か国中、日本は141位。この残念な結果は何かご存知でしょうか。

実は、英国のチャリティー団体「CAF」(Charities Aid Foundation)が2010年の世界的金融危機を受けて初めて発表された長期にわたる調査である世界寄付指数ランキング(World giving index rankings※)の2024年の結果です。

これは成人に対する以下の3つの調査結果の平均値を指標にしています。

- ① **Helped a stranger, or someone you didn't know who needed help?** (見知らぬ人や、助けを必要としている人を助けましたか?)
- ② **Donated money to an organisation?** (団体に寄付しましたか?)
- ③ **Volunteered time to an organisation?** (団体にボランティアとして参加したことがありますか?)

日本の①は24%、②は17%、③は19%で指標は20です。

1位となった国は、日本と同じ東南アジアに属するインドネシアで①は66%、②は90%、③は65%で指標は74です。

以下、10位までの国と指標は2位ケニア63、3位シンガポール61、4位ガンビア61、5位ナイジェリア60、6位アメリカ59、7位ウクライナ57、8位オーストラリア54、9位

アラブ首長国連邦54、10位マルタ54と続きます。因みに隣国の韓国は38で85位、中国は37で95位です。

一方、本校では、SDGsの達成に向けて総合的な学習の時間に実施しているシビック・アクションや、洗足池公園の清掃、大岡山駅前花壇整備などを行う農援隊の活動をとおして、ボランティアマインドも育てっており、全校生徒のアンケートで「私は、地域行事やボランティアに積極的に参加している」という質問項目に肯定的に回答した生徒の割合は昨年度より6.5ポイント増え74.2%となっています。

また、昨年1月1日に発生した能登半島地震では当時の3年生学級委員が中心となって募金活動を行い、集まった73,110円を日本赤十字に寄付し、4月10日に発生した台湾地震では今年度の3年生学級委員が中心となって募金活動を行い、同じく日本赤十字に40,326円を寄付しました。加えて農援隊が大岡山駅前ですれぞれ募金活動を行いました。

こうしたボランティア活動や募金活動が、より多くの人役に立ち、感謝されることを自身の喜びとし、幸せと感じられる生徒を育み、成人してからもその感性が持続することを願ってやみません。

※[https://www.cafonline.org/docs/default-source/inside-giving/wgi/wgi\\_2024\\_report.pdf](https://www.cafonline.org/docs/default-source/inside-giving/wgi/wgi_2024_report.pdf)

